

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	構造設計小委員会		主 査 名：竹内 徹 就任年月：2008 年 9 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森博司
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	目的：シェル空間構造の構造設計および施工技術にかかわる諸問題を幅広い観点から検討することを目的とする。 活動：2005 年に刊行した「ドーム構造の技術レビュー」に引き続き、技術レビュー対象を空間系構造全般に拡大し、特徴的と考えられる計 19 物件の候補をとりあげ、08 年度までに計 16 物件の技術報告会と 11 物件の現地報告会を完了した。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 佐々木睦朗(法政大)、竹内徹(東工大)、河端昌也(横浜国大)、アラン・バーデン(ｽﾌｧｯﾁャｰﾄﾞ ﺇﾝﾊﾞﾗｲﾂ)、今川憲英(電機大)、植木隆司(巴コポレーション)、大崎純(京大)、岡田章(日大)、金箱温春(金箱構造設計事務所)、川口健一(東大)、川口衛(川口衛構造設計事務所)、齋藤公男(日大)、坪井義昭(芸大)、望月利男(太陽工業)、諸岡繁洋(東海大)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2008 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2008 年度は 3 件の現地報告会を行い、技術検討を行った。 2. 2005 年度以降調査した作品群の技術レビューの整理手法についての議論をスタートした。
委員会活動の問題点・課題	1. どのような催し物・刊行物の形で成果を発表すればより多くの参加者を集め社会に有意義な還元ができるかの議論を絞り込み、その準備を行うことが今年度の課題と考えています。